

あけましておめでとうございます。今年もしっかりがんばりますので、よろしくお祈りいたします。

新型コロナ感染症対策で各現場で対応にあたられている皆さん、本当にありがとうございます。心から感謝いたします。

気候変動が世界的課題です。その一つに車社会のあり方も議論されています。電気へ水素へと技術革新の期待は大きい一方で、日本では人口が減り車も物流も人の移動も減っていきます。

しかし、国では「スーパーメガリジョン構想」や「重要物流道路」、あるいは「新広域道路ネットワーク」といった新たな道路計画が脈々とつくられているのをご存知でしょうか。これに加え国土強靱化です。高速道路のような高規格道路の整備が災害に備えて重要といった議論になっています。

昨年からのコロナの感染拡大は、人間の活動のあり方そのものに警鐘をならしたわけですが、政治と行政はそんなこと無視して回転し続けています。今年こそは、「ん～もお～（牛の鳴き方とかけています。）たくさんだ」、と政治変革を実現する年にしましょう。

そして一日も早いコロナ禍の解消を！

2021年元旦
参議院議員 江崎 孝



参議院議員
江崎たかし



岸まきこ
参議院議員

組合員のみなさんの声を集め、
国会に届けます!!

自治労
市従労
NEWS
第149号
発行2021年1月1日
金沢市従労組 情報宣伝部

組合員・ご家族の皆さん、あけましておめでとうございます。参議院議員としての活動をスタートしてから1年5ヶ月が過ぎました。この間の温かいご支援に、心から感謝申し上げます。本来であれば、組合員のみなさんに直接お会いし、直面している職場の課題を伺ったり、国政報告をしたかったのですが、新型コロナウイルス感染拡大の状況もあり、なかなか全国各地に伺うことができない状況にあります。昨年臨時国会は、新型コロナウイルス対策や「桜を見る会」の疑惑、日本学術会議会員の任命拒否の問題など、議論が不足しているにもかかわらず、会期延長をすることなく閉会してしまいました。残念ながら今の自公政権の圧倒的な数の力で押し切られてしまっている状況にあります。今年行われる衆議院選挙では、この状況を必ず転換しなければなりません。このコロナ禍で、国が行うべき施策はたくさんあります。自治体任せにしないPCR検査体制の強化や、逼迫した状況にある医療体制への支援、経済対策や生活支援など、本当にさまざまな議論が残っており、野党が一丸となって政府に提案していきます。住民と地域を支える公共サービス職場で働く組合員のみなさんの声を集め、引き続き国会に届けていきます。みなさんが安心してサービスを提供するための労働条件を改善していくことも私の役割の一つです。これからもみなさんとともに、頑張っていきます。誰もが平和で穏やかな日々を送ることができ、お互いさまに支え合う社会をつくれるよう、今年も取り組んでいきます。本年が皆さんにとって素晴らしい年となりますようお祈り申し上げ、新年のあいさついたします。

2021年元旦 参議院議員 岸まきこ